

令和7年度 静岡県庁スタディツアー

静岡県職員（行政）

～企画部・総務部・財務部の概要説明～

県の組織

知事

副知事

企画部

総務部

財務部

危機管理部

くらし・環境部

スポーツ・文化観光部

健康福祉部

経済産業部

交通基盤部

出納局

企業局

がんセンター局

議会事務局

人事委員会事務局

監査委員事務局

労働委員会事務局

収用委員会事務局

知事部局等：約7,000人

教育委員会（教員を含む）：約20,000人

警察本部（警察官を含む）：約7,000人



静岡県組織における仕事の分野・業務

分野

DX

地域外交

危機管理

税務

環境

県民生活

文化

スポーツ

観光交流

教育

医療・福祉

産業振興

県土づくり

他にも様々

業務

施策の企画・推進

広報

許認可

指導・監査

県税の賦課徴収

公共事業の用地取得

各種相談業務

予算編成

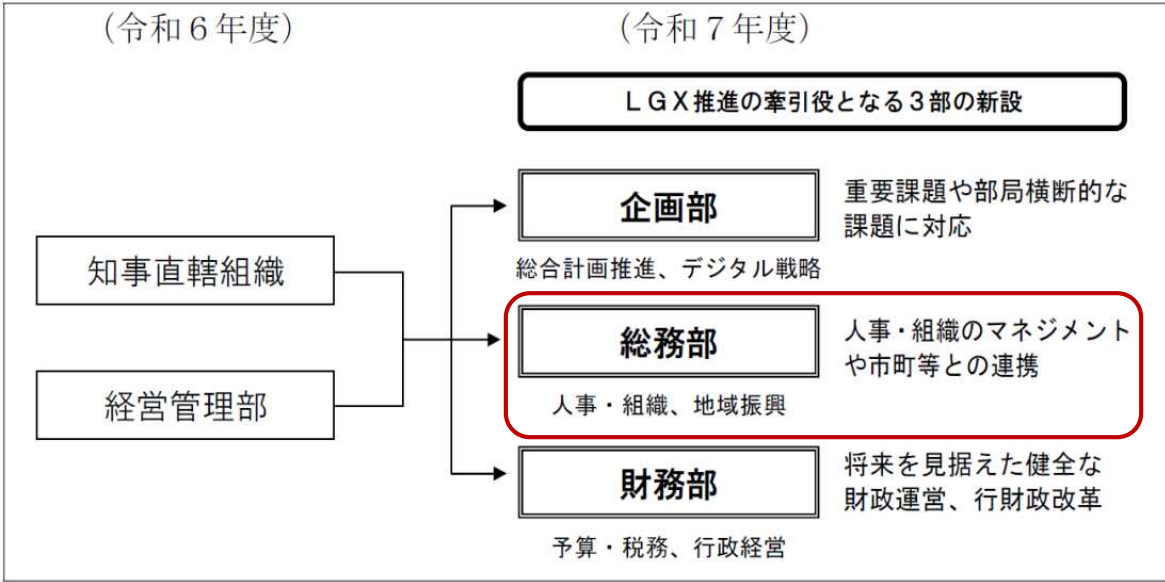
組織・人事管理

他にも様々

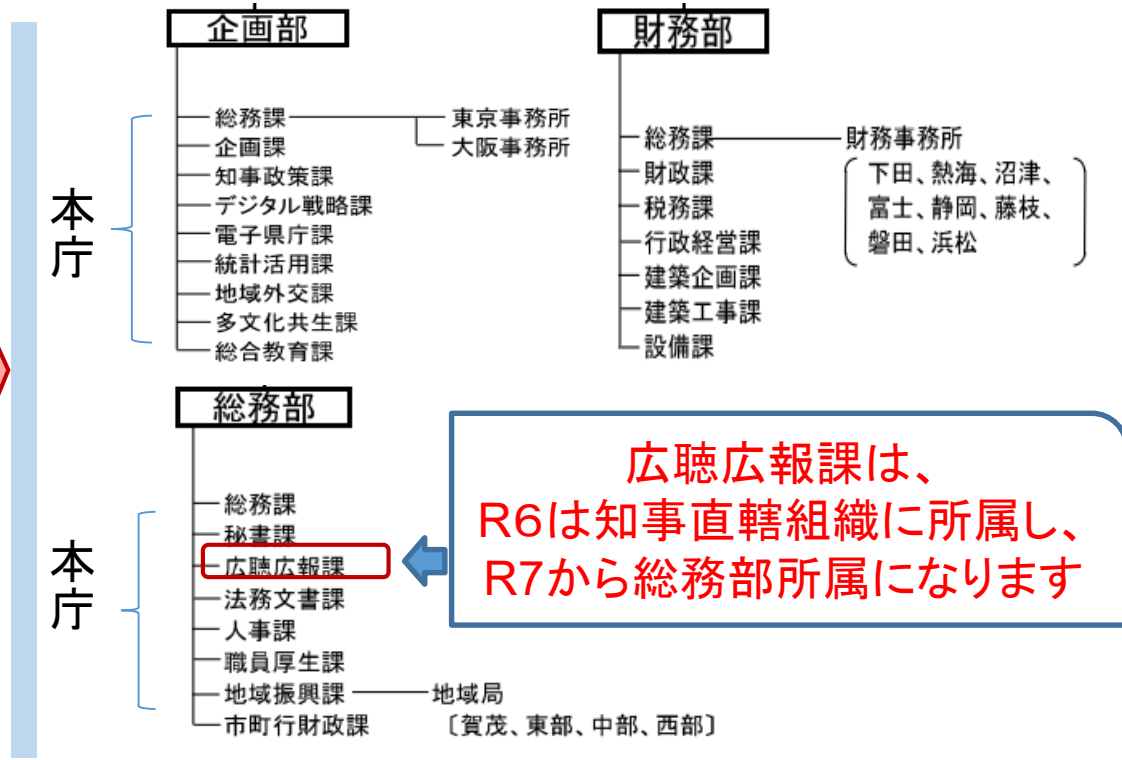
組織改変の概要

① 令和7年度 組織改正の概要

- 県政運営の基本理念に掲げるLGXの推進に向け、知事直轄組織及び経営管理部を再編 ⇒ 企画部、総務部、財務部を設置
- 簡素で効率的な組織体制とするため、「部一課」体制を導入



② 組織図



(参考)

企画部の変遷

| 年度 | 部 | 局 | 組織改正のポイント |
|------|--------|---------------------------|-----------------------------------|
| ～H27 | 企画広報部 | 知事公室、地域外交局、政策企画局、情報統計局 | |
| H28 | 知事直轄組織 | 知事公室、地域外交局 | トップマネジメント機能を発揮し、迅速な意思決定を行う体制を一層強化 |
| | 政策企画部 | 政策推進局、情報統計局（H29～経営管理部へ） | |
| H30～ | 知事直轄組織 | 知事戦略局、政策推進局、デジタル戦略局、地域外交局 | 政策推進と予算編成を一体的に推進 |
| R 3～ | 知事直轄組織 | 知事戦略局、政策推進局、デジタル戦略局、地域外交局 | デジタル戦略機能の強化 |
| R 7 | 企画部 | （「部一課」体制。9課2出先機関） | LGXの推進。簡素で効率的な組織体制 |

「企画部」の業務紹介①(次期総合計画の策定)

R6年度に決定した「経営方針」を基に、県民や審議会、県議会の御意見を取り入れ、R7年度中に策定

総合計画(概要)

経営方針 (R6年度に決定済)

◆目指す姿

「幸福度日本一の静岡県」

◆基本理念

「L G X(ローカル・ガバメント・トランスフォーメーション)」

行動計画 (R7年度中に策定)

目指す姿の実現に向けた政策を4つに区分

I 未来を創る力

- I-1: 産業
- I-2: 環境・エネルギー
- I-3: 観光・交流・インフラ

III 県民の安心

- III-1: 防災・安全

II 豊かな暮らし

- II-1: こども・教育
- II-2: 健康福祉
- II-3: 暮らし・文化

行政経営

徹底した行財政改革の推進

スケジュール

| 時期 | 内容 |
|--------|-----------------|
| 7月10日 | 第1回総合計画審議会 |
| 9月 | 9月県議会全員協議会 |
| 9月～10月 | パブリックコメント |
| 11月 | 第2回総合計画審議会 |
| 12月 | 12月県議会常任委員会集中審査 |
| R7年度末 | 第3回審議会 |
| | 次期総合計画の策定・公表 |

LGXの実現に向けたDXの推進

静岡県庁LGX宣言

経営感覚を持ち将来世代に対して責任を負う

税金を無駄にしない

前例踏襲や役所の常識にとらわれず新しいことに挑戦

巧遅より拙速

人を活かす

業務変革

情報システム最適化

デジタル人材の育成

業務変革

- データを重視したスピード感の高い経営に転換していくため、データ集計の迅速化やデータ分析の深化を図るツールを試行導入・検証する【試行導入：6月中旬～】
- デジタルツール等の積極的導入や生成AIの利活用により、業務の効率化と質の向上を図る

BI(Business Intelligence)ツール

各種データを精密にすばやく集計し多彩なアウトプットで出力する

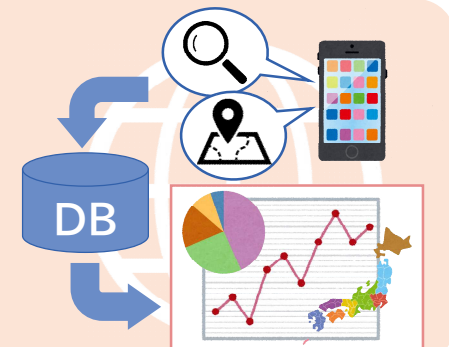
短時間でデータ可視化、即時共有し意思決定の迅速化をサポート



デスクリサーチツール

住民・来訪者の関心度や行動情報のビッグデータを収集・分析

施策課題の調査や効果検証に活用し施策の質を向上



<お問い合わせ先> 静岡県企画部デジタル戦略課 TEL: 054-221-2912

「企画部」の業務紹介②（静岡の地域外交）

地域だからこそできることがある...

静岡発の“地域外交”

基本的な考え方

- 国や地域による文化の違いを理解して、自立した相互の信頼関係を築く、
地域レベルの国際交流・国際協力
- 本県の優れた技術等を活かし、産業、教育、文化など様々な分野において誠意をもって、
相互にメリットのある施策を展開、民間団体や企業、県民の交流を促進



「財務部」の業務紹介（財務の仕事～交付税業務～）

※ 地方交付税とは

- 全ての国民が標準的な行政サービスを受けられるように、国が本来地方の収入とするべき税を代わりに徴収し、「地方交付税」として再配分
- 地方交付税は「普通交付税」と「特別交付税」で算定・交付される

地方交付税とは

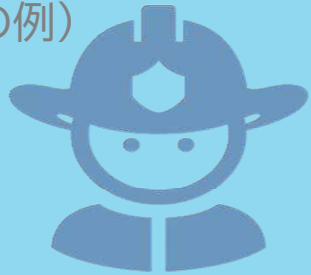
- 地方交付税は、本来地方の税収入とするものを国が代わりに徴収して再配分するもの
- 地方交付税は使い道に制限のない地方固有の財源（＝一般財源）



地方交付税がないと

- ◎ 地方公共団体によって財政力には大きな差
- ◎ 住む場所によって受けられる行政サービスに大きな差が出る可能性

（行政サービスの例）



消防費

消防・救急の提供に必要な経費



道路橋りょう費

道路や橋りょうの維持管理経費



小学校費

小学校の運営経費

「総務部」の業務紹介（広報の仕事～県の広報～）

広聴広報課の紹介

企画報道班

- ・ホームページの運営や、県庁の各課の広報相談
- ・災害時の広報や報道に関すること
- ・報道機関との調整

県民広報班

- ・広報誌の作成(県民だより、ふじのくに)
- ・動画を使った広報「ふじのくにメディアチャンネル」の運用
- ・記者会見のWEB配信、ふじっぴーの活用

県民のこえ班

- ・県民の方からの問い合わせ対応や、アンケートの実施
- ・知事広聴の運営
- ・県民サービスセンター(県庁2階)の運営



静岡県庁スタディツアー

ご清聴ありがとうございました

